

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	広域応援体制整備・強化事業		担当部署	消防本部 予防 課(室)	
総合計画体系			根拠法令 計画など	消防組織法	
基本政策(大項目)	2	安全で快適な環境の鳴門づくり	事業期間	開始	平成 7 年度
政策(中項目)	1	安全・安心都市なると			
(小項目)		危機管理・防災			
施策	4	災害に強いまちづくりの推進		終期	未定
基本事業	2	危機管理・防災体制の強化			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 緊急消防援助隊 徳島県隊						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	大規模災害発災時に、速やかに対応出来る組織作りを目指す。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		合同訓練へ参加した職員数	5	6	5	6	3	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練が小松島市小松島港「赤石ふ頭東地区」であり、徳島県隊として救助隊1隊5名、準備室員1名参加した。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
指標名		22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	合同訓練参加回数	1	1	1	1	回
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	合同訓練へ参加した職員数		5	6	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位
事業費	(財源内訳の合計)		40	39	33	39	20
	財源内訳	国	0	0	0	0	0
		県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	40	39	33	39	20
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		65	65	65	65	65	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	人
	臨時職員等(2,012千円/人)						
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		105	104	98	104	85	千円

【事務事業名：広域応援体制整備・強化事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	緊急消防援助隊中四国ブロック合同訓練(山口県開催)に向け準備を進めている。救助隊1隊(5名)が参加する予定である。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	10 /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 災害に強いまちづくりの推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	10 /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。			
3.効率性の評価		理由等所見欄	
10 /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> ▼ ▼			
	どのように改革するのか				